



# 気象変動に打ち克つ米づくり

## Part4 ~昨年特に問題となったカメムシ類について~



令和6年は、特にカメムシ類の発生が目立った年となりました。その中でも、水稻に不稔症状を発生させる「イネカメムシ」の発生量が多く、今後も問題となることが考えられます。

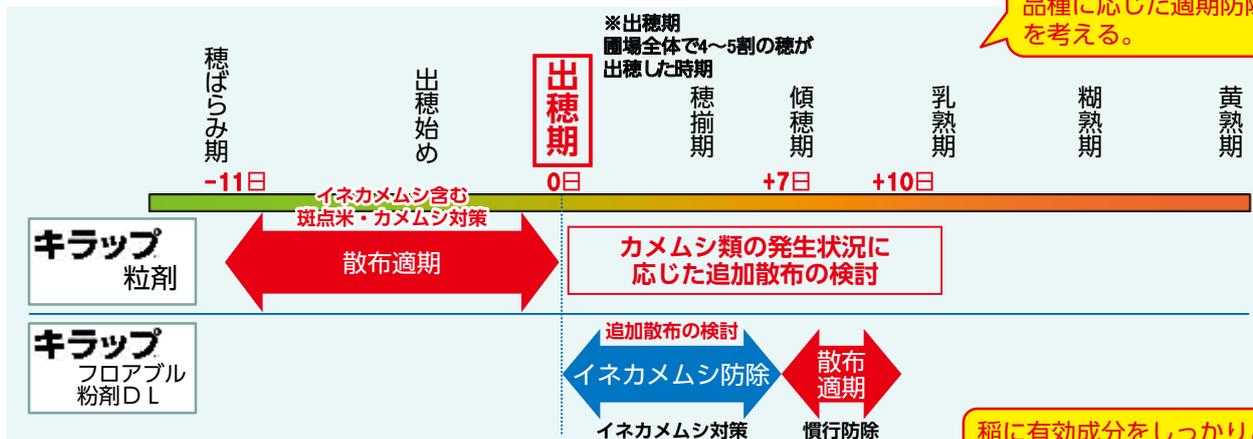
### イネカメムシ

昨年の新聞報道等でたびたび取り上げられたカメムシです。滋賀県では、1970年代に多発した記録があるものの、1980年代には発生がほとんど見られなくなりました。しかし2000年代以降、発生が増加に転じ、県内の一部地域で局地的に多発していましたが、令和6年産では、長浜市・米原市でも被害(不稔籾)が散見されました。今後も警戒が必要です。



イネカメムシ

### ● 斑点米カメムシ類の散布適期の考え方



田植時期や中晩性品種に応じた適期防除を考える。

稲に有効成分をしっかりと吸わせることがポイント！

### ● 水管理について (キラップ粒剤)

- ▶ 散布時は湛水状態 (水深3~5cm) とし、水口および水尻を止めてください。
- ▶ 散布後少なくとも4~5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水およびかけ流しをしないでください。

イネカメムシ防除の注意点として、防除適期が他の斑点米カメムシ類と異なるため、不稔被害を抑制するため、発生量の多いほ場では通常の防除に加え、追加散布をする必要があります。

### pick up 営農指導活動

### 青年部員とJA役職員との懇談会開催

1月23日に、JAレーク伊吹青年部によるJA役職員との懇談会を開催しました。懇談会では、青年部員より、日頃のJA事業への要望や改善に対する意見をもとに、JA役職員との懇談を行いました。事務局としても青年部員の地域農業への熱い思いや、JA事業に対する建設的な考え方について、改めて共感することができ、良い懇談の場となりました。



営農企画課  
長浜統括営農担当  
山崎 健太  
(JAレーク伊吹青年部事務局担当)